きよさと 組合だより

JA 清里町

No.375



第９回ＪＡ清里町収穫感謝祭開催！

2023年 1 令和５年

もくじ

年頭にあたって　清里町農業協同組合代表理事組合長　石井　透…2
令和５年の年頭にあたり　北海道農業協同組合中央会会長　小野寺俊幸…4
新年のご挨拶　清里町農民連盟委員長　坂野　和弘…5
新年のご挨拶　ホクレン斜里原料所所長　東松　隆二…6
新年のご挨拶　網走農業改良普及センター清里支所支所長　髙橋　雅人…7
新年のご挨拶　清里町農協青年部部長　佐々木勇太…8
新年のご挨拶　ＪＡ清里町女性部部長　三上由香里…9
第９回ＪＡ清里町収穫感謝祭開催…10
ＪＡ清里町資材センター　オープン３周年記念セール開催…12
令和４年度第１回ＪＡ清里町　地域農業応援団会議…12
清里中学校職業体験学習…12
無人ヘリコプター秋播小麦防除作業実施…13
廃プラリサイクル回収実施…13
永年勤続表彰…13
理事会の経過をお知らせ致します…14
組合員状況…14
業務改革・改善提案審査表彰式…15
年末・年始の業務日程について…15
年末・年始（正月）のＡＴＭ稼働状況のご案内…16
年末・年始（正月）のＪＡ共済からのご案内…16
各課紹介　第７回金融部金融課…17
各課紹介　第８回金融部共済課…18
斜里警察署からのおしらせ…18

年頭のご挨拶

年頭にあたって

清里町農業協同組合
代表理事組合長　石井　透



新年あけましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様には、ご健勝のなか新年を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。また旧年中は農協事業推進に組合員皆様の一方ならぬお力添いを頂きました事に改めて感謝とお礼を申し上げます。本年におきましても役職員一丸となり農協事業の推進および課題解消に向け邁進していく所存でございますので、組合員並びにご家族の皆様の変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと約三年にも及ぶコロナ禍の中、世界的な経済活動の低迷が続きまた保護主義的な色合いも強くなり原油・ガス・石炭等、インフラ関係での急激な高騰と小麦・トウモロコシ等の穀物でも国際相場の値上がりが続き、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻がこのような状況に拍車を掛け、世界的に混寧が深くなっております。日本においてもこの影響を大きく受け、生活に不可欠な石油・ガス・電気などの値上がりが続き、輸入に依存してきた食料品もこの一年の間に何度も値上げを行うという状況となっております。

この影響は生産現場にも暗い影を落とし、燃料・電気を始め各種生産資材が軒並み値上げとなり、特に飼料・肥料の高騰は未だ経験の無い所まで上昇してきております。特に酪農畜産の現場では配合飼料価格が急速に値上がりとなり、未だ高値で推移し、それに加えコロナ禍の中で乳製品の消費の落ち込みが在庫を膨らませ、昨年度の生産計画では一昨年の生乳生産実績を超えない現状維持で進んでおりましたが、下半期に入っても改善が見られず減産に舵を切っております。その上、個体販売価格は値を下げており特に乳用種での下げ幅が大きく、初生トク等においては販売価格が通常価格の2割に満たない取引が多く、時には販売価格がつかないという状況も起きております。セーフティーネットとして配合飼料価格安定制度、牛マルキン制度等がありますが、この急激な変化に制度が追い付けて行けない状況となっております。飲用価格を期中改定で10円／kgと値上げしましたが、北海道においては加工用途向けが約8割を占めていますので約2円程度の値上げに留まり、コスト上昇分を補うには余りにも少ない所であり、酪農の現場では三重苦、四重苦となっております。畑作関係では例年より雪解けが早い中、春耕期を迎え順調に進むと考えておりましたが、4月末から5月上旬に掛けて数回にわたり霜風害の被害を受け、甜菜を中心に大きく影響を受けました。再移植、補植、他作物への転換等で手当てがされましたが、大変なご苦労に遭われた事と推察しております。その後は低温な時期もありましたが概ね順調な天候に恵まれ作況指数も平年並みに推移し、7月末より小麦の収穫が始まり降雨で刈り取りを中断した日もありましたが、きたほなみ・春よ恋ともに穂発芽も無く全量1等Aランクに合格し、収量も平年作を維持できました。収穫体制においては麦作集団再編2年目に入り、再編集団内の協力体制も上手く機能し始め、刈り取りの効率化が進んできております。本年度3年目を迎えますので再編集団の一体化に向け進めて参りたいと考えております。馬鈴薯は9月より収穫が始まり、掘り取り・工場操業とも順調にスタートし、10月後半に降雨の日が多く工場への原料搬入が厳しい日もありましたが、組合員各位のご協力の中、工場を止める事無くまた事故も無く操業を終了できました事にお礼申し上げます。昨年から全量抵抗性品種へと置き換わりましたが、収量的にはクタに平均75俵を上回り、澱粉価もまずまず、回収率も計画を上回る事が出来ましたので馬鈴薯に付いては良い年であったと考えております。甜菜に付きましては春先の被害もあり出来秋を心配しておりましたが、順調な生育で進み糖分は低めでしたが単位収量が平年以上となり、糖量では平年を少し上回る実績となりました。豆類に付きましては一昨年記録的な

不作となりました小豆ですが、平年を上回る単位収量が確保でき、また販売単価も高値傾向で終えることができました。大豆に付きましては収穫期に降雨が近く刈取作業が難儀致しましたが、コンバインを2台に増車したことによりその効果を発揮し、無事収穫を終わらせる事ができ、収量も平年作となりました。青果類に付きましては収量・品質も良好な年となりましたし、販売単価に付きましても安定した価格で推移しております。このように農産物においては安定した年ではありましたが、総体的な生産コストの増高がクミカン収支に影響を受けた年となりました。農協事業に付きましては、燃油・電気料の急激な値上がりで各事業とも影響を受けました。特に麦作センターおよび澱粉工場では価格変動の幅が予想をはるかに超える電気料金の高騰、そして諸材料の値上げなど厳しい状況となっております。その中で出来る限りのコスト低減に向けて鋭意努力して参り、苦しい事業展開とはなりましたが総合農協の強みを生かしながら底上げを図って来ている所です。また一昨年から手掛けて参りました補助事業による麦作乾燥調製貯蔵施設の増設工事が3月下旬に完成し竣工式を行った所です。今回の工事に関して清里町より組合員負担軽減のために過疎債の適用をして頂きましたこと大変ありがたく心より感謝申し上げます。事業効果を最大限に発揮すべく、調製期間の短縮と横持ち運賃等のコスト削減を目的に進めて参りました。例年の調製作業は10月中旬から下旬まで掛かりご負担をかけておりましたが、昨年に付いては9月中旬には調製作業が終了し、麦作工場に従事して頂いております後継者の方々には操業期間の短縮により、1ヶ月ほど早く秋の収穫作業へと戻って頂く事が出来ました。また高速洗車場の導入に付きましては懇談会などで数年前より導入を要望するご意見を頂き、また女性部からも同じような要望があり取得をしたところです。今後ともご愛用を宜しくお願いいたします。

本年度においても未だ収束が見えて来ないコロナ過と、ウクライナへの軍事侵攻により世界的な混乱が続き、資源・食糧に付いては保護主義的な動きが強く高値が続いております。昨年末に世界の人口が80億人を超え今後も世界の人口が増え続けていく事が予想される中、世界的に資源・食糧の囲い込み等によるインフレ基調による物価上昇が続いており、今までのように輸入頼みでの食糧戦略では限界に来ていると感じております。国内では輸入農畜産物の国際相場も上昇基調で推移し、食料品を中心に値上げが繰り返され、三白と呼ばれる米、乳製品、砂糖を始め、大豆、小麦でも動きが鈍い状況です。農業者自ら消費促進のため消費拡大運動を展開し、組合員各位の特段のご協力を頂いている所ですし、この運動に付いては国からも高い評価を受けております。今後ともこの運動を継続し優先的に国産農畜産物の消費を進めて行く政策に繋げて行きたいと思っております。政府には国民の生命を守る為の食糧安保を再認識した中、国産農畜産物の重要性を再確認し生産振興に向けた日本農業・北海道農業の位置付けを明確にした食糧安保大綱を定めて頂き、農業基本法改正に付いても同じ考えのもと進めて頂きたいと思います。本年度より経営所得安定制度での数量払い単価の改訂が行われ、澱源馬鈴薯、そば以外は軒並み単価が下がり、その上消費税相当分が減額となり一層単価が落ち込み、また甜菜に付いては糖化調整制度の累積赤字および消費減少による在庫の積み上がり等を理由に令和8年までに産糖量が55万tにまで削減との決定がなされ、更に肥料の記録的高騰等と畑作生産環境は一層の厳しさが予想され、酪農畜産においても生乳生産の抑制、飼料高騰、個体販売の不振など、多くの難題が重なり生産基盤の棄損が心配されます。国においては飼料・肥料高騰対策を進めておりますが現状と乖離した補填内容となっており、更なる対策を要請していかなければなりません。一方、北海道は独自対策として資材高騰に対し支援金の対策を決定、清里町においても組合員並びに農協に対し支援金等の対策を決定して頂きました。改めて感謝申し上げます。あらゆる事が重なり本年に付いては厳しい年になると予想され、農協と致しましても組合員を全力で支え、組合員と共に協力し合いながらこの難局を乗り越えていかねばならないと思っております。農協事業に関しましては、本年度大きな固定資産取得等は考えておりませんが、麦作センター・澱粉工場・各選果場での動力光熱費、諸材料費等も高値で推移しておりコスト意識を高く持ちながら運営を進めて参りたいと考えております。昨年より監査法人による監査、また収益認識会計が始まり、本年度は適格請求書等保存方式（インボイス制度）が10月より始まりますので、それに向けての準備なども着実に進めて参りたいと思っております。

結びにあたり、本年が豊穣の出来秋であります事と組合員ご家族皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げるとともにJA事業への更なる結集をお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせて頂きます。

年頭のご挨拶

令和5年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長　小野寺　俊幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありましたが、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウィルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、新型コロナウィルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶

清里町農民連盟
委員長
坂野和弘



新年明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より農民連盟の運動に際し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと比較的融雪が早く春耕も順調なスタートと思われましたが、4月末から連日の強風に苦労しました。GWに入ると作業機が凍結するほどの霜害にみまわれ、風害と合わせるとおよそにも影響・被害が及びました。懸命の回復作業によりビート・馬鈴しょとも平年以上の収量を確保し、麦は過去トップクラスの整粒率となり組合員の努力が形となりました。町内に限らず全道各地において何かしら気候の影響を受ける事が毎年続く状況下、局地的な気象災害への迅速な支援・対応等を農連組織として関係機関に要請して参りました。

国際情勢に目を向けると2月末からのロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化は食料やエネルギーといった商品市況の高騰を招き、世界経済に大きな影響を与えております。原料確保による競争の影響で肥料が高騰し、未だに高い水準で進む円安基調が農業経営に大きな影響をもたらしています。SDGsやカーボンニュートラルといった世界的な環境負荷軽減への取り組みも、机上の数値目標達成のために農業分野に過度な負担が強いられぬ様注視していくべきでしょう。TPP11・各EPA・日米貿易協定等は第2フェーズへの交渉動向を注視する必要があります。昨年より発効のRCEPについては影響試算を早急に取りまとめ、影響如何によっては国内対策の措置を講ずるよう求めていく必要があります。

国内では3年毎の直接支払交付金の算定がなされ畑作3品を輪作体系の主軸とする当町農業者にとっては大幅な収入減少が予想されます。昨今の燃油・資材高騰分は試算されないルールの元算出された交付額に対して、今後3年営農が継続出来るよう切迫に緊急対策を講ずるよう求めて参ります。国は砂糖・乳製品等の適正在庫を大きく超えるものについては積極的な消費・消化に転じず減産という入り口対策に舵をきりました。食料安全保障に矛盾する政策には断固として反意を唱えます。

町内対策においては防風保安林の整備が、上斜里地区でのモデル事業検証を終えて、神威地区・江南地区での事業開始となります。燃油・資材高騰対策として地方創生交付金を財源とした助成を町に要請致しました。シロシストセンチュウ対策、鳥獣被害対策、種子芋団地の保護、道路支障木や明渠等の環境整備等に、組合員皆様・JA清里町・清里町・関係機関の方々のご協力を賜り、運動を展開して行く次第でございます。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして実りある穏やかな年であり、益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



ホクレン斜里原料所
所長 東松 隆二

新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

日頃より、てん菜生産振興、製糖工場運営並びに原料所業務に対し、組合員をはじめ農協および関係機関の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

令和4年産のてん菜作況につきましては、播種定植作業はおおむね順調に開始されましたが、4月末から5月上旬にかけて強風や降霜により再播種・再定植が余儀なくされてしまう圃場がありました。さらに少雨による干ばつ被害があり、生育は地域間・圃場間のばらつきがありました。6月以降は好天に恵まれ、生育は順調に推移し、褐斑病が平年よりも多く発生したものの収量は平年を上回る10a当たり7tを超える収量となりました。組合員、関係機関の皆様の日頃からのご努力と土づくりや肥培管理の成果であるものであり、感謝申し上げます。

てん菜の輸送につきましては、ジャガイモシロシストセンチュウ発生以降、原料区分が細分化されており、工場の受入口において輸送調整を余儀なくされる状況が続いております。また、新型コロナウイルスの蔓延等によるトラック運転手の不足が影響し、計画輸送に遅延が生じ、皆様にご迷惑をお掛けすることが多々ありましたが、ご理解いただき感謝申し上げます。受入期間を通じて大きな事故もなく輸送できたことは、皆様のご協力によるものであり、重ねて感謝申し上げます。

輸送業界におきましては、依然として運転手不足が大きな課題となっております。また、来年2024年には運転手の時間外労働の上限規制が課され、現行の受入期間輸送体制では運転手の労働時間が制限を超えてしまい計画輸送に支障をきたす懸念があり、体制の変更が急務となっております。そのため、受入開始日や期間の検討、車両の大型化、輸送の効率化が必要となります。昨年は工場直送と貯蔵を同時に開始し受入開始日を遅らせました。今後も同時開始の取り組みを継続してまいりますが、輸送の効率化などの課題解決に向けては、引き続き農協や組合員の皆様のご協力を賜りたく存じます。

さて、砂糖情勢につきましては、砂糖需要の低下、糖価調整制度の収支悪化からてん菜の交付金対象数量の見直し方針が示されております。加えて肥料価格の高騰や直接支払交付金単価（ゲタ対策）の引き下げなど非常に厳しい環境にあります。オホーツク地域では、小麦・馬鈴薯・てん菜が畑作主要品目になっており、てん菜は輪作体系の一翼を担っています。てん菜の生産基盤維持は皆様の持続可能な営農に大きく貢献できるものであり、品種導入・栽培技術向上に取り組んでいくことが重要です。皆様の期待に応えられる工場を目指してまいりますので、今年もご協力をお願い申し上げます。

末筆になりますが、本年1年が災害・事故がなく豊穣の秋となること、農協や組合員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



網走農業改良普及センター清里支所
支所長　髙橋雅人

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝で希望に満ちた２０２３年の新春をご家族とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、皆様には日頃より普及センターの活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の農作物の作況を振り返ってみますと、融雪期は平年並に経過し、４月から５月にかけて高温少雨に経過したため、ほ場の乾燥が進み、馬鈴しょの植付作業、てん菜の移植作業は順調なスタートを切ることができました。しかし、５月上旬の強風により、てん菜やたまねぎの一部ほ場で被害が見られました。

秋まき小麦の幼穂形成期、止葉期は平年より早まりましたが、４月以降の高温・少雨は茎数の減少を招き、更には追肥肥効の遅延から遅れ穂の発生に繋がりました。また、６月上旬の極端な低温と日照不足により出穂にバラツキが見られ、７月中旬からの断続的な降雨により、登熟期間中の積算日照時間は少なくなりました。未熟粒の発生が多く見られましたが歩留まりは高く、製品収量は平年をやや下回りました。コムギ縞萎縮病については今年は少ない発生でしたが今後も懸念されます。春まき小麦は厳しい気象条件下ではありましたが、収量・品質は平年並を確保できました。

７月中旬からの断続的な降雨により、馬鈴しょでは塊茎腐敗が発生しましたが、上いも収量は平年並、でん粉価は平年よりやや高くなりました。てん菜は８月中旬以降の最低気温が高く、褐斑病の発生も見られ根中糖分は平年を大きく下回りましたが、根部肥大は順調で収量は平年を上回りました。豆類は灰色かび病や菌核病が見られましたが、収量・品質は平年並を確保でき、飼料作物は収量・品質とも良好でした。

昨年のような厳しい気象条件の中、作物への影響を最小限にとどめたことは、皆様方が日頃から実践している土づくりと高い生産技術、そして家族や地域の方々の弛まぬ努力の賜物と敬意を表します。

農業をめぐる情勢では農家戸数の減少や高齢化による担い手の減少や環太平洋パートナーシップ協定（ＴＰＰ11）などによる経済のグローバル化に直面しています。経営規模拡大と担い手の減少に対応するため多様な担い手の育成確保やスマート農業の推進など、更なる農業生産力の向上や農村活性化に向けた取り組みが必要です。

また、一昨年からの新型コロナウイルス感染症に加え、原油や農業用資材の国際価格の大幅な上昇により、農業はもとより社会全体に大きな影響をあたえています。

普及センターとしましても、地域の諸課題に対し皆様とともに、町やＪＡなどの関係機関と連携を強化しながら活動を推進します。

職員一同、皆様方の農業経営の向上及び地域農業の振興に力添えできればと考えております。皆様にとって、本年の豊穣の秋と、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農協青年部
部長
佐々木　勇太

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、清里町農協青年部の活動に対しまして、農協、各関係機関の皆様方には格別のご支援とご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。また、青年部部員の皆様、ご家族の皆様方にも、青年部活動に対しご理解ご協力を頂いていますことにお礼申し上げます。

我々青年部は、年々厳しさを増す農業情勢の中、農業の未来を担う若手農業者が地域貢献や農協事業の推進、部員同士の親睦を深めることなどを目的として様々な活動を行っております。

昨年の作況は、春の蒔き付け作業は順調に進んだものの、風害や霧害もあり作物の生育が心配されました。しかしながら、それ以降は穏やかに気候が推移し、不安を払拭されるほど生育が進みました。収穫期にはまとまった雨による収穫の遅れが心配されていましたが、比較的滞りなく進んでいたように覚えています。小麦、てん菜、澱原馬鈴薯は平年並みかそれ以上、玉ねぎや豆類等の青果でも平年以上の収量がありました。

昨年の青年部活動を振り返りますと、農業委員会との学習会、農協理事との懇談会を開催させて頂きました。近年の農業情勢への質問や農協事業への意見が活発に挙がっており、部員の皆様の意識の高さが窺えました。また、訓子府石灰工業への視察研修、斜里町農業改良研究センターでの学習会や肥料メーカーの方をお呼びしての学習会も行い、技術向上やさらなる知識の習得に努めました。

農協の新人職員の皆様に参加頂きました青年部スポーツ交流会では、昨今の情勢を鑑み小規模な開催となりましたが、皆様方には親睦を深めて頂けたと感じております。

その他にも町内介護施設へのタオルの寄付、きよ～るで開催された「きよさと にぎわいまつり」での農産物販売、農協収穫祭での焼きそば調理販売、担い手対策事業である異業種交流会、小学生を対象とした食育事業である「清小楽しいキッズスクール農園」などの行事を通じて、地域交流、情宣活動を行ってまいりました。なかでも「清小楽しいキッズスクール農園」では、子供たち自らが植え付け収穫をした馬鈴薯を両手で大事そうに抱えている姿を見ていると、この活動が食育として大変価値あるものであると改めて認識しました。

国内で新型コロナウイルス感染症が確認されてから、早三年が経とうとしています。ワクチンの接種も進み、以前のような緊張感は薄れていますが、未だに感染者数が高止まりしている状況です。また、国内外の農業政策や資材の高騰など、農業を取り巻く情勢は厳しさを増す一方で先行きが見えない状況にあります。我々青年部としましては、新型コロナウイルス感染症の動向に注視しつつ、組織活動を通じて地域農業、ＪＡ運動の継続発展に貢献することで、このような農業情勢に一丸となり立ち向かっていきたいと考えています。

最後になりましたが、農協、各関係機関の皆様には本年も我々青年部へのさらなるご指導ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方にとりまして明るく良い一年でありますよう様ご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



JA清里町女性部
部長　三上　由香里

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を皆様と共に穏やかに迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

日頃よりJA女性部活動に対しましてご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年は雪解けが早く春耕期も順調かと思われましたが、4月下旬の強風と霜の影響でビートの補植や植え替えに苦労しました。その後5月の好気候が作物の体力強化となり、6月の長雨、低温、日照不足に耐え、基幹三作物と各作物とも好結果でした。努力の甲斐が実り一安心しました。しかし酪農では乳製品の売れ行きが悪く、生産抑制や飼料が高騰し苦難が続いています。酪農も畑作も頑張って生産したので余さず売れてほしいものです。

そうしたコロナ禍による影響が女性部活動に及び自粛体制となっていました。しかし、これ以上活動が低迷してしまわぬよう「できることから、やっていこう」という活動方針を掲げ、3年ぶりにスポーツレクリエーションを開催しました。役員皆様の新たなひらめきで、今までとは違う形式となりましたが参加部員みなさんの笑顔あふれる楽しい交流の場となりました。

研修会は、クリーンサービス大平さんを講師に招き「お家で出来るプロテクニック」と題し、掃除アドバイスを頂き大変参考になりました。掃除グッズプレゼントもあり、とても好評な研修となりました。

農協主催収穫感謝祭も復活し、久々のでんぷん団子焼きに夢中になりました。アカシヤ部会の力強い協力で、おいしいでんぷん団子を振舞うことができました。

フレッシュミズ活動では、夏季研修は残念ながらコロナの影響で直前に中止となりましたが、11月下旬にオホーツクJA女性部フレッシュミズ研修のWEBヨガ教室に参加し、久々に楽しいひと時となりました。

アカシヤ部会は、健康管理に努めながら、加工品作りや冬季研修旅行を行い充実した活動を行っています。

コロナ禍とロシアによるウクライナ侵攻等により世界経済が激変し、生産資材と電気燃料の高騰や生産抑制等で農業は厳しい経営環境となりました。また食料生活用品の値上げ等で、生活環境にも大きな影響を及ぼし家計を守ることも苦労となっています。しかし、こんな時こそ生活を見直し、農家である私達が「国産国消」を実践し、消費アイデアを発信することが大切だと思うのです。

一刻も早い世界平和を望みます。そして、私たち女性部活動が平常時の活動に戻れるように願いを込めて、更に一致団結する事を考える時です。農業を支える一人として、家庭を明るく、自らも楽しく過ごすことのできるよう知識の向上、仲間づくり、住みよい地域社会づくりを目指して行きたいと思います。

新しき一年が飛躍する年となりますように、皆様のご理解とご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げますと共に、今年が豊穣で、明るく、希望に満ちた健康な一年でありますようにご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶と致します。



第９回ＪＡ清里町収穫感謝祭開催

３年ぶりの開催！新型コロナ対策を万全に、地域の皆様へ感謝を還元

11月19日、第９回ＪＡ清里町収穫感謝祭をＪＡ駐車場にて開催致しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から長らく開催を延期しておりましたが、会場内の飲食禁止など感染対策を実施することにより、無事に開催することができました。

今年は、毎年恒例であった『重量当てクイズ』や『農産物販売』、『野菜の袋売り』、『女性部によるでん粉団子』、『青年部の清里焼きそば販売』、『清里切麦の販売』そして今年から新たに企画された『ガラポン抽選会』では、会場内で１店舗以上お買い上げいただいたお客様はガラポン抽選に参加できるという新企画であり、景品には『給油カード３万円分』や『ＡコープＪＡ商品券１万円分』、㈱マキタ様よりご協賛いただいた『電動インパクトドライバー』などの豪華賞品が数多く用意され、たくさんの方々にご参加いただくことができました。



また、町内のお店や団体よる出店では、麦香房の本格石窯ピザの即売や澤田農場による焼肉弁当や加工商品、モンブランのクレープをはじめとするスイーツ、おくちゃん農園では小豆の詰め合わせやリンゴなどの販売が行われ、小雨がちらつく中ではありましたが、約４２０人のお客様にご来場いただきました。

未だに猛威を振るう新型コロナウイルスでありますが、来年はマスクを外しより活気に満ち溢れた収穫感謝祭が実施できることを願っております。

今回の収穫感謝祭に関し、ご来場いただいた方々をはじめ、ご協力をいただいた各関係機関の皆さま、誠にありがとうございました。










女性部による
熟練のでん粉団子
販売！


大盛況！
農産物
販売！


販売会場
1袋各200円
北カムイ
シャドークイーン
大特価！
野菜の
袋売り
販売！


青年部による
焼きそば
調理販売！


地産地消！
麦香房様の
本格石窯ピザ！


地産地消！
おくちゃん農園様
地産地消コーナー
おくちゃん


地産地消！
澤田農場様
焼き肉弁当
500円
自家産産牛肉
（有）澤田農場
地産地消コーナー
澤田農場


地産地消！
和洋菓子の
モンブラン様
最高級
生クリーム食パン
べっこう
あめ
清里産小麦使用

JA清里町資材センター オープン3周年記念セール開催

～日頃のご愛顧に感謝を込めて～

11月18日・19日にJA清里町資材センターにてオープン3周年を記念した特価セールが行われました。

資材センターでは、組合員の皆さまや、お客様のニーズにあった商品の充実と利用しやすい環境づくりに努め、地域に愛される店舗を目指しており、おかげさまで3周年を迎えることができました。

今回のセールでは冬物の衣料品やマキタの電動工具をはじめ、女性のお客様にも嬉しい便利な家電など、数多くの大特価商品を取り揃え開店直後から多くの方にご来店いただくことができました。

これも日頃のご愛顧の賜物と感謝しております。

これからも皆さまに寄り添い地域に根差した店舗づくりに努めて参りますので、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



令和4年度 第1回JA清里町地域農業応援団会議

10月24日、農協2階会議室にて第2期目となる『令和4年度 第1回JA清里町地域農業応援団会議』が開催されました。

本活動は、協同組合を核とした准組合員・一般町民との関係づくりを基に、地域農業応援団としての理解浸透と、各活動を通じて地域農業応援団の輪を広げることを目的に発足されています。

地域農業応援団のメンバーは、准組合員・一般町民から10名を選出させていただき、JA青年部、JA女性部、Aコープきよさと店、JA役職員を合わせて17名で構成されており、2年間の任期で活動しております。

開会にあたり、三上専務より挨拶の後、団員各位へ委嘱状の交付がなされました。会議では、『第1期の活動報告』や『JA清里町の事業概要や施設紹介』、『青年部・女性部の活動内容』、『今後の活動計画』について説明の後、意見交換が行われ、団員からはこれからのJA清里町の方向性などについて貴重な意見や要望をいただきました。

今後の活動予定としては、来年3月に第2回目の意見交換、10月には当JAおよび管内の農業施設の見学などを予定しております。


三上専務より団員各位へ委嘱状交付



清里中学校職業体験学習

職業体験を通して、『働くこと』の喜びや厳しさを学ぶ

11月11日、ホクレン清里スタンドにて職業体験学習として清里中学校2年生の佐々木煌晟くんを受け入れました。

本授業では、『生徒が自己の生き方や進路について主体的に考え、選択する能力・態度を育てること』、『社会人としての基礎的な資質と能力を養うこと』などを目的に行われました。

実習では、給油中の車の窓ふきや、この時期ならではの「タイヤ交換作業」に携わり、任せられた仕事に責任感をもって一生懸命に取組んでいました。

今回、実習に来てくれた佐々木くんは「様々な仕事をやらせてもらい、自分が思っているよりも大変だと感じたが、とても良い体験になった」と、とても充実した学習が行えた様子でした。今後のご活躍に期待しております。


熱心に仕事に取り組む

無人ヘリコプター秋播小麦防除作業実施

～越冬に備え万全の対策を～





11月7日・8日の2日間で無人ヘリコプターによる秋播小麦の雪腐れ防除作業が行われ、合計で213．60ha（散布戸数41戸）の面積に散布されました。

無人ヘリコプターの操縦ライセンスを持ったオペレータによる巧みな操縦技術で行われた防除作業によって、これから迎える冬に向けての準備が進められました。

メーカーの方々をはじめ、担当者の皆さん、早朝からの作業ありがとうございました。

来年もまた良い出来秋を迎えられることを願っております。

廃プラリサイクル回収実施

～農業用廃プラスチックの適切な処理へ～



11月21日、22日の2日間で、神威麦作センターにて今年2回目となる、農業用廃プラスチックの回収が実施されました。

当日は、冬の肌寒い風と小雨がちらつく、あいにくの天候ではありましたが多くの組合員が搬入に来られました。

回収結果は、受入戸数128戸（前回実績134戸）で、総受入重量（農ビ・農ポリ）は32，560kgを回収することができました。（前回比98．2%）

今後ともリサイクル回収へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

永年勤続表彰

表彰おめでとうございます！



城村営農部長



杉山燃料自動車課長

11月18日、城村英樹営農部長と業務部燃料自動車課杉山裕紀課長が、入組以来30年の永きにわたって農協事業の進展に寄与したことの功績が称えられ、『永年勤続表彰』を受賞致しました。

理事会の経過をお知らせ致します



第11回 11月22日

付議事項

議案第1号 令和4年産玉葱および長いもの融資単価の設定について

議案第2号 令和4年度規模拡大による出資増口について

議案第3号 令和4年度役員道外視察研修の実施について

報告事項

1. 令和4年産原料てん菜の概算払いについて
2. 令和4年産原料てん菜の糖分状況について
3. 令和4年産でん粉工場操業の実績報告について
4. 令和4年産澱粉粕出荷実績について
5. 令和4年産種子馬鈴しょ申込に対する配付（見込）について
6. 令和3年産長芋本精算について
7. 余裕金の運用状況について
8. JAバンク業務継続要領の制定について
9. 内部監査（期中Ⅱ）の実施結果について
10. 経営定期点検（10月期）の実施結果について

第12回 12月9日

付議事項

議案第1号 令和4年度期中値引き（奨励）の実施について

議案第2号 令和4年産でん粉加工料の決定について

議案第3号 理事に対する供給限度額の変更について

議案第4号 令和5年度土地評価基準の設定について

議案第5号 令和5年度営農計画樹立に係る作物別単価の設定について

議案第6号 臨時懇談会の開催と懇談事項について

議案第7号 令和4年度給与改定について

議案第8号 従業員に対する12月期賞与の支給について

議案第9号 SDGs取組方針の設定について

協議事項

1. 令和5年度事業運営方針（案）について

報告事項

1. 令和4年産原料てん菜の糖分状況について
2. ホクレン生乳生産抑制支援策に係る取り組みについて
3. 固定資産の取得について
4. 毒劇物危害防止要領の一部改正について
5. 自動車展示会の実績報告について
6. 第9回収穫感謝祭の実績報告について
7. 令和4年度会計監査人監査（期中Ⅱ）経過概要報告について

組合員状況

〈令和4年12月1日現在〉

■組合員数　〈前回報告より〉

正組合員	（個人）	212名	（1名減）
〃	（法人）	17法人	（変動なし）
准組合員	（個人）	1,328名	（変動なし）
〃	（法人）	0法人	（変動なし）
〃	（団体）	18団体	（変動なし）
	（合計）	1,575	



♠業務改革・改善提案審査表彰式

より良い職場づくりを目指して

12月1日、農協事務所内にて令和4年度の業務改革・改善提案の表彰式が行われました。今年度は16件の提案が提出され、厳選な審査の結果7案件が実施検討案件に選ばれ、それぞれの案件の提案者が表彰されました。これから農協内部にて実施に向けた検討を重ねていく予定です。次年度以降も職員一丸となって、より良い職場づくりに努めて参ります。



【令和4年度実施検討案件】

①ＪＡコネクトの活用について
②給茶機使用時のマイコップ等の使用について
③ＪＡコネクトを利用した内部回覧文書について
④Ｆａｃｅｂｏｏｋによる農協施設や商品解説動画の配信
⑤Ｇｏｏｄ＆Ｎｅｗ（グッドアンドニュー）導入について
⑥裏玄関の改善について
⑦受付文書、大掃除、トイレ、業務改善提案、公印など（一部採用）

年末・年始の業務日程について

月日＼部門	事務所 でん粉工場	金融課	資材センター	機械センター	給油所（清里・札弦）
12/26（月）	全部門平常営業				
12/27（火）	全部門平常営業				
12/28（水）	全部門平常営業				
12/29（木）	午前中営業	営業	午前中営業	午前中営業	営業
12/30（金）	休み	営業	休み	休み	営業
12/31（土）	休み	休み	休み	休み	午前中営業
1月1日（日）～3日（火）までは全部門休業					
1/4（水）	休み	営業	休み	休み	営業（10:00～15:00）
1/5（木）	休み	営業	休み	休み	営業（10:00～15:00）
1/6（金）	全部門平常営業				

エーコープきよさと店は年内無休、また、初売りは1月4日（水）9：30～19：00までの営業となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。



新年明けまして おめでとうございます

令和5年　元旦

ＪＡ清里町　役職員一同

年末・年始（正月）のATM稼働状況のご案内

年末・年始（正月）のＡＴＭ稼働状況は、下記の通りとなっております。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

	ＪＡ清里町	コンビニ、ゆうちょ銀行、他ＪＡ（注）
12月30日（金）	通常営業 9時～17時	稼働：最長8時～21時 （コンビニＡＴＭは8時～22時）
12月31日（土） ～ 1月3日（火）	休止	稼働：最長8時～21時 ※休日扱いのため、手数料が発生します。 ≪ 取扱注意 ≫ 但し、12月31日～1月3日の取引について、ｺﾝﾋﾞﾆ、ゆうちょ銀行、他ＪＡはご利用できますが、取扱店舗によってATMが稼動していない場合があります。
1月4日（水） ～	通常営業 9時～17時	稼働：最長8時～21時 （コンビニＡＴＭは8時～22時）

（注）取扱店舗によっては、ＡＴＭが稼働していない場合があります。

◎キャッシュカード盗難・紛失の事故が発生した場合
連絡先：ＪＡバンクキャッシュカード紛失共同受付センター
ＴＥＬ： 0120 -944 -904 （24 時間受付）

◎ＪＡカード（クレジットカード）盗難・紛失の事故が発生した場合
連絡先：ニコス盗難紛失受付センター
ＴＥＬ： 0120 -159 -674 （24 時間受付）

現金のお引き出しはお早めに！
あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申しあげます。

年末・年始（正月）のJA共済からのご案内

年末・年始（正月）のＪＡ共済の対応は、下記の通りとなっております。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

	ＪＡ清里町　共済課　窓口
12月30日（金）～1月5日（木）	休日

◎自動車事故に見舞われた場合
ＴＥＬ： 0120 -258 -931 （24 時間・３６５日受付）

◎レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合
ＴＥＬ： 0120 -063 -931 （24 時間・３６５日受付）

安全運転を
心掛け
ましょう！

第7回

金　融　課

各課紹介

金融部　金融課

組合員の皆さまに職員の顔と名前を覚えて頂くことを目的に『各課紹介』を連載しております！（全9課）
普段、接点の少ない職員の顔を覚えて頂き、農協に来た際にはぜひ声をかけてあげてください！



□金融課の仕事

・貯金、融資業務の他、資産運用アドバイス・年金相談など、皆さまの資産管理のサポートをいたします。組合員・利用者の皆さまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、日々頑張っております。お気軽に窓口までお越しください。

◆職員紹介

①氏名
②農協勤続年数
③趣味／特技
④新型コロナが収束したら旅行に行きたい場所
⑤今後の抱負

①森　大樹
②27年目
③庭の芝生管理
④沖縄
⑤体力の衰えを感じております。段差につまずかないように頑張ります。



①仲野　明子
②28年目
③温泉巡り
④沖縄、九州…どこでもいいからゆっくり旅行したい!!
⑤皆さんに信頼される職員になれる様、日々努力していきたい。



①吉田　逸人
②9年目
③映画鑑賞／柔道
④京都
⑤異動したばかりで覚える事は多々ありますが、1日でも早く金融課の戦力になれるよう努めて参ります。



①大内田　結
②3年目
③ドライブ／エレクトーン
④東京、神奈川
⑤テキパキ仕事をこなす!!



①阿部　宏保
②2年目
③テニス
④アメリカ（1ヶ月くらい行きたい・・・）
⑤組合員さんや町の人達に寄り添った職員を目指します!!



①大藤　春果
②2年目
③ドライブ／肩もみ
④本州
⑤先輩に追いつく！



①津田　空
②1年目
③好きなアイドルを見ること／ピアノ
④韓国
⑤頼られるようになる！



JA 清里町　事務所



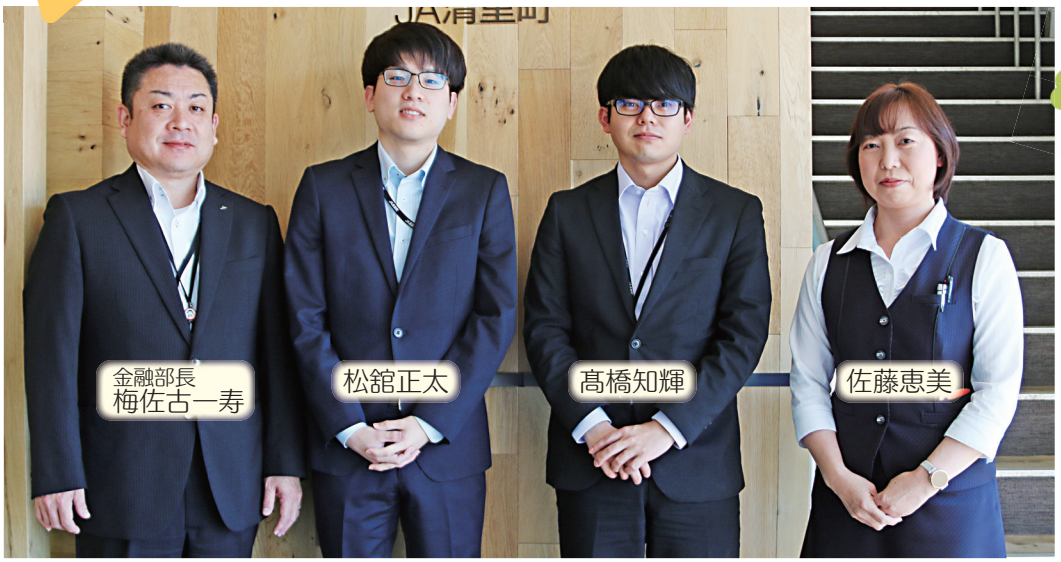
金融課は金融専用出入口または農協事務所正面から入って頂き右手奥になります。

～金融課～
TEL：0152－25－2212（直通）
TEL：0152－25－2358（直通）
FAX：0152－25－2714

第8回

共　済　課

名課紹介



金融部　共済課

組合員の皆さまに職員の顔と名前を覚えて頂くことを目的に『各課紹介』を連載しております！（全9課）
普段、接点の少ない職員の顔を覚えて頂き、農協に来た際にはぜひ声をかけてあげてください！

□共済課の仕事

・JA共済は、組合員・利用者の皆さまに密着した生命保障を中心とした「ひと・いえ・くるま・農業」の万全な保障提供を行っています。
共済課は、組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の実現に向けた事業活動で皆さまをサポートしています。
また、暮らしの保障のことなら何でも相談できる「ライフアドバイザー」や「自動車事故損害調査スタッフ」が誠意をもってお応えいたしますので、お気軽に窓口までお越しください。

◆職員紹介

①佐藤　恵美
②33年目
③買い物（ネットで見るだけが多いけど）
④日本のパワースポット。
美しい景色で癒されたい。
⑤共済課の2人を立派に育てること。



①梅佐古　一寿
②24年目
③パークゴルフ（普通のゴルフをしたいが、金銭的な余裕が無いため）
④福岡・沖縄など全国各地
⑤年相応となり健康管理に気を付けていきたいと思います。



①氏名
②農協勤続年数
③趣味／特技
④新型コロナが収束したら旅行に行きたい場所
⑤今後の抱負



①髙橋　知輝
②7年目
③バイク
④温泉の有名なところを巡りたい
⑤健康的な生活をする。



①松舘　正太
②4年目
③バレーボール
④福岡県
⑤共済課1年目頑張ります。

JA 清里町　事務所



～共済課～
TEL：0152－25－2355（直通）
FAX：0152－25－2941



電子マネーを購入される方へ…

電子マネーでの料金請求は**詐欺！**

◎ アダルトサイトのワンクリック請求
◎ 身に覚えのない有料サイトの料金請求　など

「電子マネーを購入し、カードに書いてある番号を教えろ」と指示する詐欺が増加しています。





電話やメールで突然料金を請求された際は警察相談電話＃9110へご相談下さい。

斜　里　警　察　署

編集／組合だより編集委員会
印刷／星印刷工業株式会社